



TITLE:

九月の天

AUTHOR(S):

---

CITATION:

九月の天. 天界 1927, 7(78): 364-365

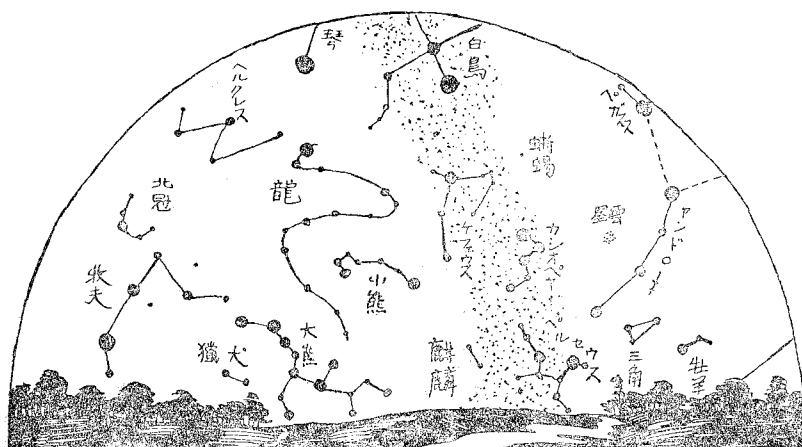
ISSUE DATE:

1927-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161147>

RIGHT:



### 九月北天

太陽は先月末から人馬宮にあるが、24日午前10時に天秤宮へ侵入して、秋分となる。此の日太陽は赤道を南へ横切る。

月は4日20時に上弦、11日22時に満月、18日正午に下弦、26日朝7時に新月となる。11日は所謂仲秋の明月

水星は大體太陽の向ふ側にある。但し月末は西の宵天に姿を現はす。

金星は地球と非常に近接し、殊に11日には僅か11000000里となるのだから、始終日光中にあつて觀望は不可能である。其の後は曉の明星となる。

火星の觀望は益々だめ。

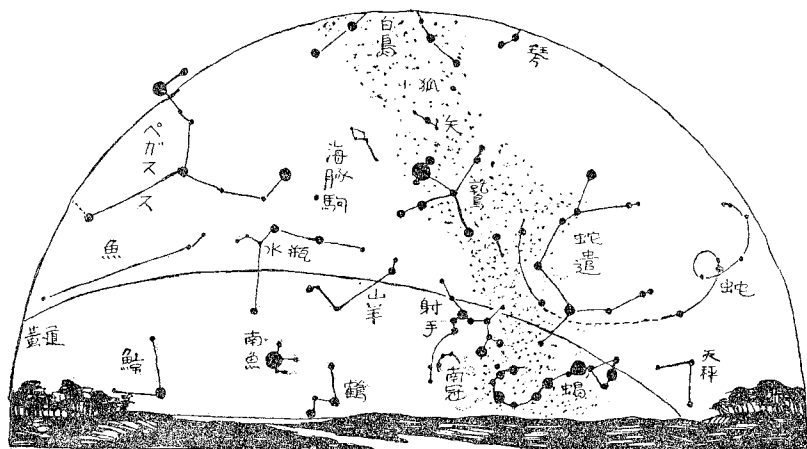
木星は此の月が最も好い見頃である。魚座を逆行中であるが、毎夜、日没後、間もなく東天から現はれ、其の巨大な輝やきは全天に君臨する如くに見える。22日に太陽を對衝、此の日地球より距離1億5000萬里。望遠鏡裡の視直徑48''

土星は既によほど西へ移つたが、しかし、未だ見えないとは言へない。元來が遠い星なので、距離や大きさは大して變化が無い。望遠鏡さへ持てば輪の形も面白く、衛星も亦美しい。

天王星は魚座を徐々々逆行中。ちよご木星と連れ立つて居て、殊に月初には木星の西北 $20^{\circ}$ 以内の所にあるから、さがし易い。

海王星は獅子座にあるから、太陽と同時に出没して、觀望には不適當。

ステアンス彗星とケリク彗星さが、強力の望遠鏡には今尙ほ見えてゐる。



### 九 月 の 南 天

日が西に没して九月の空には、七夕の夫婦星の後を追ふて、白鳥の北十字星座が我が邦の天頂を占領し、また之れを貫く天の河は既に其の流れの方向を東北から西南へと變へてゐる。白鳥座は廣い星座で、二重星、三重星、變光星、星雲など、實に見るものの多い星座である。新星も亦何時出現するが豫想が出来ない。

南天には山羊や水瓶や魚など、淋しい星座が連続してゐるが、只、木星が魚座に頑居してゐるこゝそ、はるか南に南魚座のフォーマルハット星が閃めいてゐるこゝそが眼を惹く。——しかし、此等と同時に、夜が更けるこゝそ、天頂にはヘガスの方形が迫つて來、其のあさから、アンドロメ、カシオペア、ペルセ等の秋らしい星々が續く。夜半には東南の天空に鯨が既に全身を現はし、殊に其の星座中の怪星ミラが可なり明るく光りを増して來てゐる。今年度此の星は10月初に最大光輝に達する筈である。此の星の光度觀測を讀者は勵んで貰ひたい。比較星の目録は「天界」第69號第524頁にある。

ペルセ座のアルゴル星も亦見逃せない。今年今月は、14日3時と、17日0時と、19日21時とに最小光輝となる筈である。之れも、圖と比較星とは「天界」の昨年末のものに載つてゐる。